

ゼロ災害をめざして

『定着させよう安全行動』

昭和59年度「安全管理基本計画」決定

59年度「安全管理基本計画」がつぎのとおり決定、58年度は別項のとおり、チェックした気のゆるみ、不注意により内線工事に於ける災害が発生、増加傾向にあるため、過去に発生した災害を二度と繰返さないことを重点的な施策として、この基本計画の実践に邁進しましょう。

△まえがき▽

企業にとって災害の絶滅は、人間尊重の基本理念に基づき重要な経営課題であり、安全が確保されて始めて企業の発展が望めるものである。

昭和59年度の安全管理は、この基本計画をふまえて過去に発生した災害を二度と繰返さないことを重点におき、事業体で可能な諸施策を積極的に実践すると

もに、各支部、地区においても各種施策を展開し推進することにより、従業員災害および公衆災害の防止に万全を期すものとする。

1、基本方針

ゼロ災害をめざして「定着させよう安全行動」をスローガンに安全作業の指導を徹底して行うとともに、災害に対する原因の究明と再発防止策の周知徹底を通じて、安全に関する基本動作の定着化をはかる。あわせて公衆災害ならびに交通災害を防止するための諸対策を積極的に推進する。

2、具体的実施内容

(1)各事業体が推進する事項

事業主は率先して安全管理指導に努めるとともに、不安全行為に対しては毅然とした態度で指摘し、愛情ある厳しい指導を実施する。

従業員は「自分の体は自分で守り、人に迷惑をかけ

ない」という自ら勝ちとる意欲を持って、安全上の定められた事項を遵守し自からの災害防止に努める。

ア、作業災害の防止

作業災害の防止のため、次の事項を確実に実施する。

①作業出発前の事業主等による安全留意事項の指示、徹底

②作業前TBMの確実実施（安全上の留意事項の指示、危険予知の実施）

③無墜落柱上安全帯の確実使用（補助胴綱の使用）

④保安帽の完全着用と作業時の正しい服装（手袋の使用）

⑤計器活線作業時の安全マシクの完全着用

⑥保護具、防具の確実使用

⑦安全な作業足場の確保（梯子、脚立等の安定した使用）

⑧屋根上等の高所作業時における安全帯またはロープの確実使用

⑨高所作業、道路上作業時

の監視の確実実施と安全標識の確実使用

⑩事業主等による作業現場の安全指導の実施

⑪工具・防具・保護具の日常点検の確実実施

⑫災害速報、防止対策の周知と徹底

イ、交通災害の防止

交通法規の遵守はもとより、常に不慮の事態を予見した防衛運転を徹底し、交通災害の絶滅に努める。

①交通三悪の絶滅（特に飲酒運転）

②シートベルトの完全着用

③交差点での一旦停止または除行の励行

ウ、公衆災害の防止

作業にあたっては常に公衆・車両の通行など周囲の状況に気づき、標識類の設置や作業時の監視および作業後のあと片付けを確実に、公衆災害の絶滅に努める。

エ、発電機による逆圧感電災害の防止

自家用発電機の逆圧による柱上作業者等の感電を防止するために、発電機の適切な設置運用を行う。

(2)各支部、地区が推進する事項

内線関係の災害は増加傾向であり、類似災害も発生している現状から、再発防止をはかるため、各支部、地区が主体となって、次の事項を推進する。

①災害審議会、災害事例検討会による災害原因および再発防止策の検討

②災害事例および再発防止策の会員への確実周知

③事業主等や安全推進委員による安全パトロールの実施と安全作業の指導

④安全作業訓練、講習会等への出席状況のチェックと集約

⑤安全研修会、講習会の開催および昇柱訓練等の実務訓練の実施

なお具体的実施事項は別表のとおり。(2ページ)



三重県電気工事業工業組合
三重県電気工事協会の
発行人 繁田 勲
編集責任 広報委員会

おもな内容

59年度安全管理
基本計画決定… 1

理事会、委員会の
うごき… 2

59年度電気工事士
試験日程… 2

受賞に輝いた方々… 3

事業主のみなさんへ… 3

計 報… 3

厚生委員会だより… 3～4

名所、旧跡を訪ねて… 5

58年度事業の成果… 6

50年代に想う… 7

地区だより… 7

会員異動のお知らせ… 8

最近の災害発生状況… 9

「理事会・委員会

などの「う」き」

◎59・1・17 (火)

「理事会」(21名出席)

- ・事業報告
- ・加入、退会、変更承認
- ・政治連盟・収支決算承認
- ・その他

◎59・1・30 (月)

「特別委員会」

(6名出席)

- ・定款、会則の見直しについて
- ・共済会規約の見直しについて
- ・委員会・その他運用内容の見直しについて

◎59・2・4 (土)

「青年部会幹事会」

(9名出席)

- ・事業報告
- ・58年下期事業の推進について
- ・58年度中間決算について
- ・その他

◎59・2・7 (火)

「常任理事会」

(6名出席)

- ・特別委員会検討結果について
- ・組合運営内容について

◎59・2・8 (水)

「経済委員会」

(7名出席)

- ・58年度事業内容について
- ・59年度事業計画および予算案について

◎59・2・14 (火)

「安全推進会議」

(11名出席)

- ・58年度災害事故発生状況について
- ・59年度「安全管理基本計画案」について
- ・その他安全関係事業について

◎59・2・14 (火)

「理事会」(24名出席)

- ・事業報告
- ・加入、退会、変更承認
- ・特別委員会答申案について
- ・その他

◎59・2・17 (金)

「設計と積算講習会」

鶴方会場(58名受講)

- ・北口三郎講師指導

◎59・2・21 (火)

「厚生委員会」

(13名出席)

- ・58年度事業内容について
- ・第三者損害賠償補償事故内容について
- ・自動車整備事業の状況
- ・雇用改善事業結果について

◎59・2・25 (土)

「常任理事、特別委員会

同会議」(11名出席)

- ・理事会の運営について
- ・特別委員会答申案について
- ・その他

◎59・2・25 (土)

「技術委員会」

(10名出席)

- ・58年度事業内容について
- ・安全推進事業について
- ・59年度事業計画および予算案について
- ・59年度電気工事士試験について

◎59・2・7 (月)

「総務委員会」

(5名出席)

- ・58年度事業内容について
- ・58年度収支決算予想について
- ・総会までの日程作業について

◎59・3・6 (火)

「総務委員会」

(5名出席)

- ・58年度事業内容について
- ・会報内容の充実について
- ・59年度事業計画および予算案について

◎59・3・12 (月)

「理事会」(22名出席)

- ・事業報告
- ・加入、退会、変更承認
- ・59年度「安全管理基本計画案」について
- ・協力会会則改正案について
- ・総会日程について
- ・中電連絡事項
- ・特別委員会答申事項について
- ・各委員会報告
- ・連絡事項・他

◎59・3・12 (月)

「総務委員会」

(5名出席)

- ・58年度事業内容について
- ・58年度収支決算予想について
- ・総会までの日程作業について

◎59・3・2 (金)

「広報委員会」

(6名出席)

- ・58年度事業内容について
- ・会報内容の充実について
- ・59年度事業計画および予算案について

◎59・3・2 (金)

「広報委員会」

(6名出席)

- ・58年度事業内容について
- ・会報内容の充実について
- ・59年度事業計画および予算案について

安全管理基本計画 (別表)

項目	開催回数	実施内容	対象者
支部・地区安全推進会議	期1回	安全確保のための具体的展開策、指導方法などの検討	支部・地区委員
災害事例検討会 (災害審議会)	2ヵ月に1回以上	発生した災害(速報等)に基づく類似災害の再発防止策の検討と対策の周知徹底	〃
実務訓練	期1回以上	安全標識の使用、正しい服装、保安帽の着用、保護具、防具の使用など	会員全員
	期1回	昇降柱の手順、無墜落柱上安全帯の使用など	引込委託店全員
	年1回	引込線工事の正しい施工方法、安全作業についてなど	新規引込委託店
教育・講習他	期1回	保安帽、高圧ゴム手袋、ゴム・ビニールシートの点検と試験	会員全員
	期1~2回	安全推進員を主体に作業現場の安全パトロールと指導	〃
	年1回以上	スライドやイラストを活用した研修会・講習会の開催による安全意識の高揚	会員全員

お知らせ

昭和59年度電気工事士試験日程

- 1、願書受付
59・4・16 (月) 同会場
59・4・20 (金) 津工業高校
- 2、学科試験日
尾鷲総合庁舎
- 3、技能試験日
59・5・20 (日) 同会場
59・8・10 (金) 会場
鈴鹿市・県消防学校

58年度

「栄えある受賞に輝いた方々」

- 58年度内に、それぞれの部門における功績により、栄えある受賞に輝いた方々はつぎのとおりでした。会員のみならずともどもあらためてお祝い申し上げます。
- 58・5・18
電気安全中部委員会 委員長表彰
(優良電気工事士)
津地区 鈴木 昭
- 伊勢地区 亀井 正信
松阪地区 池山 清司
○58・5・28
全日電工連会長表彰
全日電工連会長表彰
(永年役員功労)
鳥羽地区 上村 静男
(永年組合職員功労)
松阪地区 菅野重治郎
○58・10・25
全日電工連創立25周年記念 会長表彰
津地区 時田 正幸
- (永年組合役員表彰)
四日市地区 伊東 直作
松阪地区 角谷 利夫
上野地区 山本 猛虎
鳥羽地区 上村 静男
鈴鹿地区 中西陽太郎
○58・11・11
三重県中小企業団体中央会 会長表彰
津地区 時田 正幸

事業主のみなさんへ

労働保険料の申告・納付はお済みですか

一労働保険料の

申告・納付は5月15日までに一

額が確定したところで精算することになります。したがって、事業主の皆さまには、59年度の概算保険料と58年度の確定保険料を申告・納付していただくこととなります。

これを年度更新とい、毎年四月一日から五月十五日までの間に手続を行っていただきます。保険料の申告・納付を五月十五日までに行われないと追徴金(保険料の1%)・延滞金(保険料の14・6%・年率)が付されることがありますので、三月末日送付いたしました申告・納付書用紙により、早めに済ませ

労働保険(労災保険・雇用保険)の保険料は、年度の始めに概算で申告納付し、年度末に賃金総

紙により、早めに済ませ

三重県雇用保険課
三重労働基準局

てくたさい。

なお、労災保険の取扱のうち、五九・四・一から(1)輸送用機械器具製造業の適用事業種類の範疇(2)専らボイラーの清掃を行う事業の適用事業種類の変更(3)機械装置の組立て及びすえ付けの事業についての工事用物に関する取扱いの変更及び労務費率の改訂がされましたので、59年度概算保険料申告にあたっては十分にご留意して下さい。

詳しいことは、県雇用保険課・労働基準局・最寄りの労働基準監督署におたずねください。

三重県雇用保険課
三重労働基準局

「共済会だより」

厚生委員会

三重県電気工事業共済会事業については、会員の相互扶助の精神により福利厚生増進に努力し、加入会員もすでに98%となり、会員各位のご協力により事業内容も一段と充実して参りました。今回はその事業の一部である「第三者損害賠償補償事故」の最近における事例をご報告するとともに、各事業所の経営面に大きなマイナス要素である事故発生の再発防止のご参考に供したいと思っております。

また不注意による物損事故件数が増発化して参りました。普通一般的には考えられないケースもあり、今後の作業開始前後の細心の注意が必要であることが感ぜられま

す。その他は従来と同様な類似的な事故でありますが今後、高度通信情報化システムに向いつつあるとき工事内容についてはより一層の点検確認チェックの励行など十分にご注意をお願い申し上げます。

り大型化の傾向にありま

別表のとおり事故内容については例年の如く、誤結線事故が発生しておりますが補償額となると高額機器電子機器などの普及化によ

り大型化の傾向にありま

年度別	発件数	補償額	掛金	損害率
51/11~52/10	33件	4,004,200円	3,523,981円	113.0%
52/11~53/10	37	2,529,340	4,323,981	58.5
53/11~54/10	33	5,345,409	5,062,550	105.6
54/11~55/10	52	10,177,099	5,129,582	198.4
55/11~56/10	27	3,357,979	5,368,841	62.5
56/11~57/10	30	3,978,326	5,423,738	73.4
57/11~58/10	36	(予想) 5,545,490	6,204,499	(予想)89.4

(発生状況表は4ページ)

訃報

昭和58年度中、不幸にして物故されました会員はつぎの方々でした。

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

○58・4・16

四日市地区

徳山電機工業所

野口一郎(84歳)

○58・7・25

津地区

○58・12・21

中湖正明(54歳)

四日市地区

野野上工業所

横山繁(79歳)

○58・11・30

名古屋通商産業局長表彰

(電気保安功労)

松阪地区

津地区

角谷 利夫
乙部 邦夫

電気安全中部委員会

委員長表彰

(電気保安功労)

亀山地区 林 照己

年度別 損害賠償補償推移

第三者損害賠償補償事故発生状況 (57年11月～59年2月)

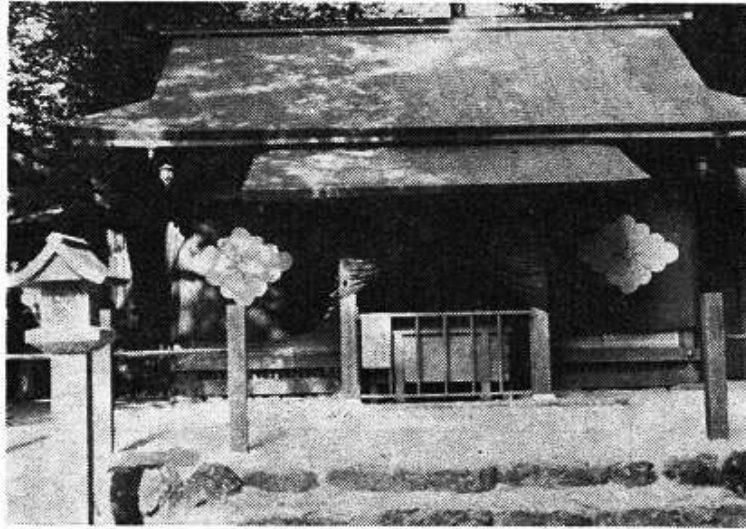
No.	地区名	事故発生年月日	補償額	事 故 内 容
1	四日市	57.11.19	20,000	照明器具取付工事中ベンチを落下、洗面台破損
2	名張	57.11.17	21,000	不点修理中ベンチを落下、カウンターガラス破損
3	四日市	57.12.4	20,000	風呂場の換気扇取付工事中ベンチを落下、浴槽下部損傷
4	鈴鹿	57.12.23	48,600	天井配線工事中ハンドルを落とし、メガネを破損
5	伊勢	57.12.29	73,400	開閉器スイッチ「ヒモ」取替中、スイッチが「入」になり開閉器損傷
6	津	58.1.17	250,000	コンピューター端末機コンセント取替中、誤結線によりコンピューター損傷
7	員弁	58.1.8	129,770	高圧受電設備改修工事のトランス入替作業中、鉄板が中電積算計にあたり破損
8	津	58.1.10	151,960	分電盤改修工事の際、ネジ締付不良により防火用感知器焼損
9	伊勢	58.1.26	74,200	天井配線工事中、工具を落下させトイン破損
10	四日市	58.2.14	363,000	幹線切替工事後、誤結線により機器焼損
11	松阪	58.2.4	70,000	天井配線工事中、天井破損
12	伊勢	58.3.4	295,000	配管入れを忘れ、金具を打たれたため、漏電火災発生
13	〃	58.3.1	43,000	換気扇取付中、落下させ蛍光文字表示盤破損
14	〃	58.2.14	195,000	スイッチネジ締付不良により機器焼損
15	津	58.2.25	55,000	給水施設の電磁弁のセット誤による焼損(凍結防止用)
16	伊勢	58.2.22	45,000	アース棒打込により誤って水道パイプ破損
17	名張	58.3.22	46,000	分電盤工事中ベンチを落下させ、洗面化粧台を破損
18	鈴鹿	58.4.15	70,000	電気ドリルにて穴明け作業中、誤ってガラス破損
19	四日市	58.3.29	26,000	操作盤ケーブル接続誤りにより、電動機単相運転により2台焼損
20	松阪	58.3.20	182,180	改修工事中、中性線を誤って開放したため、200V流入、TV、ステレオ、ビデオ等焼損
21	四日市	58.5.11	113,800	火報機器の移設工事中、ビスの締付強加により、カガミを破損
22	富田	58.5.26	303,650	単二を単三計器取替工事中、誤結線により機器焼損
23	伊勢	58.5.30	23,050	計器負荷側誤結線により200V送電機器焼損
24	津	58.6.10	81,000	玄関ドアに脚立が当り破損
25	松阪	58.6.25		水銀灯移設工事中、埋設電線切断
26	〃	58.6.16	93,000	玄関ドアに脚立が当り破損
27	亀山	58.7.12	21,700	引込線工事中、誤ってベンチを落下させ通行中の乗用車に損傷を与えた
28	上野	58.7.26	335,000	水中ポンプの漏電ブレーカーを取替工事中、渡り配線のミスにより停電、アマゴ死滅
29	四日市	58.8.4	207,900	クーラー回路誤結線により冷凍庫、冷蔵庫焼損
30	松阪	58.8.19	399,880	電算機分電盤工事を勘違いし、200Vに誤結線し、電算機破損
31	伊勢	58.9.12	162,500	看板の蛍光灯取替中、梯子が当り看板を破損
32	津	58.9.21	43,000	工事中ハンマーを落とし、便器破損
33	〃	58.9.6	8,900	玄関インターホン工事中、誤ってサッシ枠に傷をつけた
34	松阪	58.9.10	701,000	二階クーラー設置の際、ドレン配管ミスにより天井板壁にシミが入った
35	四日市	58.9.15	777,000	空調機接地工事の際、誤ってケーブル(地下埋設分)を貫通した
36	〃	58.10.5		漏電ブレーカ点検後、スイッチ投入忘れのため池の鯉死亡(9匹)
37	〃	58.11.10		吊下シーリングコンセント取替中、ショートさせ火花で仕立中の着物を焦がした
38	〃	58.11.11		11/9S取替後、S容量不足のため切れブイロー4000匹死亡
39	上野	58.12.5		店内照明器具取替工事中、商品座卓へベンチを落しキズをつけた
40	亀山	58.12.13	24,000	エアコン取付作業中、誤って石油ストーブを倒し、畳へ石油を流した
41	桑名	58.12.3	65,000	建柱作業中、農業用水管に亀裂を入れ、漏水させた
42	津	59.1.19		ボイラー用電線入線中、電源バーに接触停電、製品に被害を与えた
43	名張	59.1.27		ボックス内で修理中、誤ってドライバーを落し、炊飯中の釜及び米に損傷を与えた (ガス熱源によるベルトコンベア式)
44	松阪	59.1.27		換気扇取付不備により、カバー落下、家具に傷をつけた
45	津	59.2.10		屋内配線工事中、梯子を倒し、織機に当り製品損傷

〈リレー特集〉

「名所・旧跡を訪ねて」

大内山の頭の宮さん

大台地区 大西貞親



頭之宮 四方神社

頭之宮四方神社は国鉄紀勢本線大内山駅から少し離れた所にあります。鉄道はここから村内、梅ヶ谷駅を経て大小十三のトンネルが羊腸のように荷坂峠をくぐり抜け紀州路に向

います。国道もまた、これに交わるかの様に熊野灘を左に遠望しつつ峠を下って行きます。梅ヶ谷駅前には国さかいを越えてきて詠んだのであろう昔人の古歌が句碑として建っておりま

す。

「傘婁越えて驚きくや梅ヶ谷」と。往古よりお伊勢参りや熊野詣での旅人が漸く熊野街道の難所を越えてきた人、これから越える人が一時の休息の地として長い旅路の安全を祈願した往時が偲ばれます。

ここ頭の宮神域は、奥伊勢県立公園の中にあり、唐子川の清流が傍を流れ、南には伊勢の宮川に注ぐ大内山川を配し、又上流の瀬には名石で知られる古谷石が点在しております。

神社の由来は、唐橋中将光盛の御神霊が主祭神であります。その昔唐子川の三軒程奥に険しい岩壁がそびえ立ち、山上には中将倉と呼ばれる所があり、其の光盛が城を構えていた所と伝えられております。又、附近の平坦な場所を馬を飼育したともいわれ「馬出」(のりくち)等の地名が山腹に残っております。なお、ここ

は多気郡宮川村(その)に通ずる唯一の道路の咽喉であったと思われれます。昔、ある日のこと村童達が社地を流れる溪流で遊んでいると川上からドクロが一つ流れて来るのを見て、子供達が何気なく拾い、水に浮かべて遊んでいる所へ、たまたま村の老人(男)が通りがかり子供達に向って「そんな不潔な物捨ててしまえ」というようなことをいい、子供達を家へ帰らせた。するとその老人は突然気が狂った。そこへ仙人が現れ大声で「予は唐橋中将光盛なり。今此の辺りで童子達を相手に楽しく遊戯をしているにもかかわらず汝来りて予に向って侮辱を

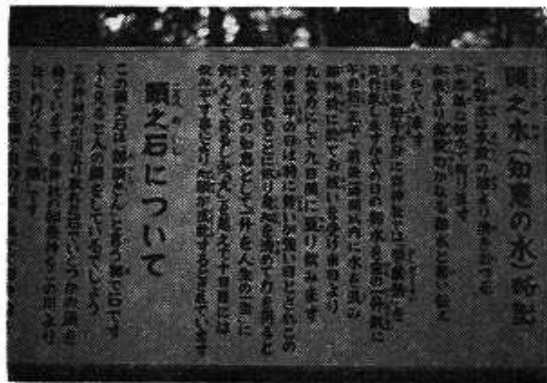
加え遊びを妨ぐ故に此事を村人に告げ今後子の霊を崇め祀らば汝の乱心を止め永く村民を守護する」といった。それを聞いた村民は恐怖を感じ今の神殿にドクロを祭り産土神としたとの伝説があり、特に首より上部の諸患に之を祈ると神助があるといい、鎮座の始めは「首の宮」といわれていたが宝永五年に神託により四方神社と称し、霜月十六日を例祭として現在に至っております。

また、特殊な信仰として「奉石」と「頭之水」があり奉石所は自分の意志を石に託する意味で、海岸の直経六程程の丸い石に各自の願い事を書いてお誓いする

風習があります。石の円形なのは、まろやかとか平安の意味で、石は堅いところから「堅い意志」に通ずるといわれています。

「頭の水」は、本殿右側にあり年中湧き出る不思議な水で霊験あらたかな水として一升瓶に詰めて心願成就を祈念され持つて帰られます。

今日此頃の厳しい寒さの中でも、とりわけ就職、受験合格祈願と参拝客が絶えません。やがて山深い社頭にも春の訪れと共に色々な願い事をこめた人々で賑わうことと思われれます。さて、陽春に先がけて今日も三交バスの「合格号」が走って行きます。



△リレー随筆▽

『五十年代に思う』

津地区 吉田光一

昔から十年ひとむかしといわれるが、過去を振り返ってみると時流の速さに驚ろかさる。

昭和五十年代は私にとつて良き思い出となりそうである。昭和五十年は丁度六七の前冠を祝う年であった。町内のグループと共に

厄年の行事に参加したのできっかけて奥さん同伴の旅行計画が盛りあがり二泊三日の九州旅行とシヤレこん

だものでした。当時の男性軍は、今と違ってもっと若く何事をするにも意気盛んな時でもあり、また、同伴の奥様方も若く、まるで高

校生の修学旅行のようでした。それ以来、主な行事には奥さん同伴で行うのが通例となりました。

最初が昭和五十年の年だったため「五十の寿」と書いて「いすじゅ会」として会が発足しました。次回も同伴で今度はハワイに旅立

ったが始めて見るハワイは実に素晴らしく、片道六時間の長旅の不安もすっかり解消して楽しさが一杯でした。

ハワイの魅力にすっかり引かれて二度どころか三度も同伴旅行を続けたのでした。我ながら良く行つたものだと感心しています。

このほか、年に一度は国内の一泊旅行を実施し現在に至っておりますが、最近ではどこの家庭でも子供の結婚、孫の世話など事情も変わってきており、そんなと

き、ふと自分の年令を思うようになってきました。同輩達も同じ心境でもあり夜の更けるのも忘れて話し合うこともしばしばで、何かにつけて友達との会話は楽しいものである。時には力になってくれる友達とはいくつになっても深い信頼と交友を大切にしたいと思っております。

私にとつて五十年代は今年だけです。次の六十年代は、ますます身心共に健全で意義ある年代にしたいと想う今日此頃です。

地区だより

親睦旅行(沖繩)

桑名地区 森下 幸

日本最南端の沖繩、最もトロピカルな色彩の島、それに青い空、エメラルドグリンの海、等々……ガイドブックの文句に魅せられたわけではないが、予てより計画し、旧臘、最終決定を見、いよいよ実行することになった。

先に陽光が見え初めたといえ長い構造不況の続く昨今、兎角沈みがちな気分

を、ふっとばそうと、組合員、並に中電桑名所長及東海桑名所長も同行、参加者全員寒い朝を、意気軒昂の内、出発する。

前日迄の大雪で、フライトが危ぶまれた二月十一日残雪の名古屋空港を離陸、眼下に伊勢、志摩のパノラマ的な眺めを見、一路那覇空港に向う、空港着陸後は生憎の小雨模様ではあった



桑名地区・沖繩観光

が気温十七、八度と、丁度内地の四月中旬頃の気候、バスの中では上衣を脱ぐ始末、チャイミングなガイドさんの案内で、先づ海洋博記念公園、東南植物楽園、バイン畑、萬座毛の断崖等を見学、第一回目の泊地、万座ビーチホテルに着く、ゴルフ組も夕方迄に戻る、夜は外人歌手のデナーショーで楽しむ。

翌二日目は、南部観光、シンボルの守礼の門を見学、その後南部戦跡を尋ね、三重の塔に花束、線香を捧げ、健児之塔、姫百合の塔に参拝、心より冥福を祈る、かつて、小生も海軍航空隊に籍を置き、もう少し早く入隊していたら、摩文仁の沖の米艦に突込んでいたかと思うと感慨無量であった。

ユラカーキ(あなた美人)の連発で踊子も、困惑顔の笑えぬ一幕もあり、とにかく、大いに愉快な、楽しい夜であった。翌三日目は皆持ち切れぬ程の土産で、中には振り分け荷物の気の毒な人もいた……二月十三日午後名古屋空港に到着、全員無事帰着。終りに当り旅行委員さん企画、実行、接待、会計報告、等々……本当にご苦労さんでした、紙上を借り厚く御礼申上ます。

氏名	桑田 幼	伊東 直作	角谷 利夫	藤田 正幸	亀井 正信	山本 猛虎	高山 悦嘉	上村 静男	楠 修次	林 照己	式編 豊
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

常任理事、各委員長会録

会員異動のお知らせ

59年1月以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追記修正についてよろしくお願ひします。(事務局)

地区	種別	新旧	コード番号	事業所名	代表者	住所	電話番号	郵便番号	登録届出申請番号
桑名	新加入		34468	三上電気工事店	三上忠彦	桑名市大字額田150-2	0594 31-3160	511	55-14
久居	〃		31349	久居宮田電気商会	宮田敏之	久居市一色町779-3	05925 2-1159	514-12	55-101
桑名	〃		34469	錦誠電	黒田泰伸	桑名市大字能部字南貝戸1098-1	0594 31-7011	511	届出 83-5
伊勢	〃		33146	野田電工	野田重幸	度会郡南島町古和浦368	05967 8-0612	516-15	58-32
四日市	〃		34171	錦ケイデン	千葉圭一	四日市々塩浜町1番地	0593 46-2521	510	届出 84-3
津	退会		31068	大洋電工機	中湖貞子	津市垂水字入江33-46	0592 27-5631	514	届出 51-50
〃	〃		31035	和興電気商会	和田正幸	津市桜橋1丁目81	0592 26-0007	514	届出 460012
名張	〃		31628	錦住矢電工	住矢市兵衛	名張市平尾3251	05956 3-2266	518-04	届出 57-6
伊勢	〃		33011	働奥田工業	奥田重吉	度会郡小俣町8413-62	0596 22-2820	519-05	56-419
〃	〃		33063	笹島電気	笹島熊子	伊勢市吉市町112-1	0596 28-7950	516	56-353
〃	〃		33130	働明野機工	宮内司	度会郡小俣町2550	0596 23-4554	519-05	57-116
松阪	〃		32043	松林電気商会	松林登美男	松阪市大黒田町496-5	0598 21-6849	515	56-249
四日市	〃		34059	田島電気設備工業所	田島巖	四日市々桜町168	0593 26-2089	510-12	56-115
上野	承継加入	新旧	31455	衛藤電気	衛藤進衛	上野市愛宕町1821-10	0595 23-0174	518	届出 84-5
松阪	〃	新旧	32054	脇田電気商会	鎌倉厚司 脇田民三	松阪市広瀬町810-2 松阪市南町199-6	0598 34-0916 〃 23-9713	515-12 515	届出53-3 56-253
津	変更	新旧	31018	働大阪電機工作所	小野拓英 小野義昌	津市上浜町4丁目50	0592 26-3278	514	届出 53-37
〃	〃	新旧	31105	サンケイ電機工業社	鈴木啓二	津市半田614-17 〃 830	0592 27-0996	514	〃 56-238
〃	〃	新旧	31090	東海電気工事働津支社	田中道夫 守山正勝	津市桜橋2丁目177-1	0592 27-5131	514	(届)大臣 4665
久居	〃	新旧	31302	武村電気商会	武村博次	久居市射場町140 〃 寺町1221-2	05925 5-2679	514-11	56-220
松阪	〃	新旧	32045	河村電気店	河村肇一	松阪市久保町1887-66 〃 大黒田町906	0598 29-3777 〃 21-2729	515	56-250
〃	〃	新旧	32007	働伊勢電機	水谷勝美 水谷美勝	一志郡嶺野町須賀1446-13	05984-2-2236	515-22	届出 56-11
鳥羽	〃	新旧	33305	働美和電気商会	山中幸造 本川恵	鳥羽市鳥羽三丁目32-5	0599 25-2551	517	届出 54-21
四日市	〃	新旧	34156	岡部電気工事	岡部洋一	四日市々白須賀二丁目10-7 〃 小杉町1723	0593 33-2225 〃 32-1261	510	57-62
〃	〃	新旧	34058	働野上工業所四日市(営) 働野上工業所	野上二郎 横山繁	四日市々西新地15-2	0593 53-1146	510	(届)大臣 46196
員弁	〃	新旧	34635	土谷電気商会	土谷勝行	員弁郡藤原町藤立3390-61 〃 坂本1243	059446 4583	511-05	57-56
鈴鹿	〃	新旧	34755	若松電気商会	垣内勇	鈴鹿市若松西5丁目21-6 〃 北若松町1070	0593 85-2856	510-02	56-145
〃	〃	新旧	34705	働東山電気工業所	東山正次	鈴鹿市若松西5丁目31-5 鈴鹿市北若松町749-1	0593 85-0561	510-02	届出 51-32
〃	〃	新旧	34712	佐藤電機商会	佐藤正	鈴鹿市若松東1丁目21-16 鈴鹿市南若松町725-20	0593 85-1226	510-02	56-157
〃	〃	新旧	34746	働岡由電気工事 岡由電気工事	岡田和由	鈴鹿市矢橋3丁目6-12	0593 83-0721	513	届出 84-7
〃	〃	新旧	34759	スギモト電工	杉本春雄	鈴鹿市若松北2丁目14-9 鈴鹿市北若松町1231	0593 85-1505	510-02	届出 56-4 56-2

最近の災害事故

発生状況について

安全推進会議

9月号にてお知らせした災害発生状況についてはその後各地区にて再発防止にご努力願っていることと思

56年度：16件、57年度：28件、今回：39件と増加の一途をたどっております。

内線関係災害内容のうち、転落、墜落災害が36%を占め、荷物運搬時の災害(腰痛)も5件と比較的多く、交通災害については死亡事故が2件発生しております。

一方災害による休業日数は一件当り39日と重傷の比率が高く、原因を見ると「気のゆるみ」「不注意」によるものが大半を占め、類似災害の発生が見受けられるので、今後これらを参考に、積極的な再発防止を

Table with columns for disaster types (e.g., 感電, 転落, 転倒) and years (57年度 to 58年度), showing counts and percentages.

58年度は、59年1月末現在

推進するた め繰返し周知徹底を図るとともに「自分の体は自分で守る」基本姿勢の確立で経営損失防止のため、ぜひみなんで「ゼロ災害達成」に一層のご努力をお願いいたします。

災害内容について (58/4日~59/1月末現在)

三重県電気工事協力会安全推進会議

Main table listing disaster incidents with columns for date, location, age, content, and days off.

11. 2	松	阪	39	車から工具を下す際指をはさみ爪が外れ骨折	35
2	〃	〃	40	ファン解体中仮支線(ロープ)が外れ転落、ファン金具が顔にささり重傷	入院 30
5	津	〃	〃	脚立が倒れ転落右手首骨折	45
13	桑	名	〃	ドラム取付中ジャッキを持ち上げた際腰を痛めた	30
18	津	〃	〃	BOX取付中腰を痛めた	10
12. 3	鈴	鹿	〃	工事中6m上から転落左腕骨折、頭を負傷	60
12	桑	名	〃	車走行中カセットのスイッチを入れた折横断中の人をはねた(相手死亡)	—
59. 1. 8	久	居	〃	階段からすべり落ち左足骨折	90
25	〃	〃	〃	改修工事中モーター移動の際腰を痛めた	10

冷暖房効果を高め効率よく換気して 省エネに貢献

new

空調換気扇シリーズ

暖房時

熱交換素子の働きにより約**68%**の熱エネルギーを回収します。

室内温度
室内の汚れた空気 **20℃**

**熱回収しながら
快適換気**

暖房している部屋で換気すると、せっかく暖めた空気を逃してしまいます。暖房費がかさむうえ、冷気が侵入します。空調換気扇は汚れた空気を排出しながら、戸外の冷気を室温に近づけて給気しますから、急激な温度変化もなく、暖房負担を軽減します。どうしても閉め切りがちな寒い冬でも、安心して換気できます。

外気温度
室外のきれいな空気 **5℃**

汚れた空気 **9.8℃**

きれいな空気 **15.2℃**
熱交換して暖められた清潔な空気

室外 熱交換素子 室内

汚れた空気 きれいな空気

きれいな空気 汚れた空気

熱回収

冷房時

約**68%**の熱エネルギーを回収

汚れた空気 **30.1℃**
室内温度はリターン **27.9℃**
熱交換して冷された新鮮な空気 **26℃**

室外 **32℃**
汚れた空気

心臓部・熱交換素子

熱交換を行う熱交換素子は図に示すように、一つの箱内に熱交換素子と給気・排気の2流路とを組み入れます。この給排気を熱交換素子において、仕切板(伝熱板)を境に交互に通して、仕切板を介して排気の持つ熱エネルギーを給気に伝えて熱交換を行います。この蒸れた空気は給気側へ移動せず直接室外へ排出し、熱エネルギーだけを室内に戻します。

室外側 **室内側**

熱交換素子

熱交換された汚れた空気が室外へ

室外のきれいな空気 室内の汚れた空気

熱交換されたきれいな空気が室内へ



松下電器産業株式会社

電材中部営業所

郵便番号 461 名古屋市東区泉一丁目23番30号 電話 名古屋 (052)951-6281 (代表)